

<熊本支部例会事前抄録>

日時：2020年1月28日(火)19:30～

会場：添島歯科クリニック研修室

- 一般講演抄録 1 -

A case restored with a Dental Implant After Minor Tooth Movement Using Placed Dental Implant as an Anchor of Minor Tooth Movement

八田 知之 はった歯科小児歯科クリニック 熊本市西区上熊本2丁目18-1

■抄録

I.目的: 歯が欠損すると隣在歯の傾斜や対合歯の挺出が起こり、その状態で補綴処置を行っても適切な咬合接触が得られないことがある。今回、埋入したインプラントをアンカーとして利用しMTMを行い、隣在歯の歯軸を改善し歯間空隙を拡大後、歯冠修復を行い良好な結果を得られた一症例を報告する。

II.症例の概要: 患者は64歳女性、2013年3月に咀嚼障害と左側下顎臼歯部の疼痛を主訴に来院した。

III.治療方法: 2013年7月、左側上顎第一大臼歯部に対し上顎洞挙上術を施行、インプラント体を埋入した。約6カ月後にプロビジョナルレストレーションを装着、オープンコイルを用いてMTMを行い、約12mmの間隙を獲得した。2014年4月最終修復物をスクリュー固定にて装着した。

IV.経過: 3ヵ月毎に咬合状態確認、歯周組織検査、メンテナンスを行い、3年以上経過したが、インプラント及び周囲組織に異常所見は認められない。

V.考察および結論: 埋入したインプラントをアンカーとして利用しMTMを行い、補綴間隙を獲得する方法は、上部構造に適切な形態と咬合接触を付与するために有効な方法である。

本演題に関して開示すべき利益相反状態はありません